

SPHの研究指定もこの4月から最終年度となります。3年間の研究のまとめを行うため、全校生徒のみなさんに2つお願いがあります。

本校の研究テーマは



「企業の社会的責任（CSR）を全うするプロフェッショナル人材の育成 —21世紀型近江商人育成プランによる、「商業道德」を身に付けた「三方よし」を実践できるビジネスリーダーの育成を目指して—

です。最終年度の今年は全校生徒による取組みを実施します。

そこで、全校生徒による取組みとして、この1年間、次の2つに取り組んでください。

1. 普段の学校生活や家庭生活における「インテグリティ(誠実さ、高潔さ)」の実行

「人が見ていないところでも正しい行動」ができていますか？人が見ていないからズルをしてもいいと思っていないですか。正しい行動か、正しくない行動か、を判断するのは自分自身です。自分に厳しくすることが「インテグリティ」を備えることにつながります。このプリント裏面に北城さんの新聞記事を載せました。その記事の中に、『決して忘れてはいけないのは「インテグリティ」。誠実さ、高潔さだ。人が見ていないところで正しい行動ができるか。』と書かれています。世界で通用するリーダーになるためには必要なことですね。

2. 学校生活の中で「三方よし」を意識して実行

自分のためになること = 相手のためになること = 社会全体のためになること

2・3年生は「近江商人探究Ⅰ」で学習したと思いますが、「三方よし」とは「売り手よし、買い手よし、世間よし」のことを言います。自分だけがよければいいという考え方は捨て去り、相手はもちろんのこと社会の人々も幸せになれるように、この「三方よし」の考え方を学校生活（クラスやクラブの活動）の中で意識して実行してください。

サッカー日本代表のゲームを現地のスタジアムで応援していた日本人サポーターたちが、試合終了後、気持ちよく帰ろうとスタジアムのゴミ拾いを行いました。この行動を世

界中のメディアは称賛したというのは有名な話ですが、「三方よし」の実践にほかなりません。クラスやクラブは、君たちにとって一番身近な世間であり社会なのです。そのクラスやクラブが「世間よし」となるよう意識的に考えて行動してください。

